

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (廿日市市立七尾中学校)

① 教科等 国語科 ② 学年 第1学年

③ 単元名 物語の味わい「竹取物語」

④ 単元の目標

- (1) 竹取物語の特徴や面白さを見つけるためにすすんで読むことができる。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 文章の描写から、かぐや姫やそれを取り巻く人々の心情をつかみ、内容の理解に役立て、自分のものの見方や考え方を広げることができる。(読むこと ウ オ)
- (3) 文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れることができる。(伝統的な言語文化に関する事項 ア (ア))

⑤ 単元計画 (全7時間)

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕(評価方法)
1	竹取物語について知り、冒頭部分を音読する。紹介カードにまとめることを知り、単元の見通しをもつ。	・個人練習・ペア練習・グループ練習など活動に重点を置く。	・文語のきまりを理解し、意欲的に音読に取り組んでいる。〔国語への関心・意欲・態度〕(発表) ・古典特有のリズムを味わいながら音読している。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(音読)
2	竹取物語の冒頭部分の内容を理解する。	・文章の内容から、かぐや姫の不思議な点をとらえさせる。	・文章の描写から、かぐや姫の特殊性に気づいている。〔読む能力〕(行動観察)
3	かぐや姫と五人の貴公子とのやりとりを理解する。	・かぐや姫の要求に対する、貴公子の行動の違いを理解させる。	・文章の内容から、貴公子の愚かさや、かぐや姫の頑な姿勢を理解している。〔読む能力〕(ワークシート)
4	かぐや姫が月に還る場面を読み、内容を理解する。	・教科書に掲載されている部分とは別の部分も紹介し、読みを深めさせる。	・文語のきまりを理解し、意欲的に音読に取り組んでいる。〔国語への関心・意欲・態度〕(発表) ・月の使者の特殊性に気づいている。〔読む能力〕(行動観察)
5	当時の人と私たちのものの考え方を比較し、その相違点を理解する。	・個人で考えた後、グループで意見を集約させる。 ・当時の人と私たちの考え方の同じ部分に着目させる。	・文章の読み取りを通して、当時の人と私たちのものの見方や考え方の相違点を挙げ、その理由について理解を深めている。 ・文章の読み取りを通して、当時の人のももの考え方について理解を深めている。〔読む能力〕(ワークシート)
6・7	学習したことをもとに、竹取物語紹介カードを作成する。	・具体例や題材を提示し、参考にさせる。 ・絵などを用い、形式にこだわりすぎずにまとめさせる。	・竹取物語の特徴や面白さに気づき、それが伝わるようにまとめようとしている。 ・文章の描写から、当時の人のももの考え方に触れたことをもとに、自分のものの見方、感じ方を広げている。〔読む能力〕(作品)

設定した言語活動を通して育てたい力

- 正確な読み取りをもとに、紹介カードにまとめる活動を通して、自分のものの見方や考え方を深めることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 個人思考をもとに話し合い活動を設け、グループで意見をまとめさせる。
- 紹介する相手を明確にし、相手意識をもってカードを作成させる。